

引き続きインフルエンザに注意しましょう



県内の患者数

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	↗2,812	2,700	百日咳	↗ 1	0
RSウイルス感染症	↘ 47	58	ヘルパンギーナ	↗ 2	1
咽頭結膜熱	↘ 22	32	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	↘ 65	68
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↘ 84	86	急性出血性結膜炎	→ 0	0
感染性胃腸炎	↘ 570	604	流行性角結膜炎(はやり目)	↗ 32	22
水痘	↘ 14	18	細菌性髄膜炎	→ 0	0
手足口病	↘ 0	2	無菌性髄膜炎	↗ 2	1
伝染性紅斑(りんご病)	↗ 71	48	マイコプラズマ肺炎	↗ 5	3
突発性発しん	↘ 26	27	クラミジア肺炎	→ 0	0
			感染性胃腸炎(ロウウイルス)	↗ 8	7

インフルエンザ
報告が多い
感染症
感染性胃腸炎
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

大きな流行が発生又は継続しつつある地域
インフルエンザ : 八代、宇城、菊池、人吉、山鹿、有明、水俣
感染性胃腸炎 : 山鹿、八代、有明、菊池
伝染性紅斑 : 菊池、水俣、宇城、天草、熊本市
流行性耳下腺炎 : 山鹿

保健所別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)

保健所名	インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎(ロウウイルス)
熊本市保健所	708	17	2	47	131	7		17	9		1	10		25		2	5		4
山鹿保健所	117				49			1	1			5	*	*					
菊池保健所	382	5	9	11	91			18	5	1		20		6					
阿蘇保健所	64				1								*	*					
御船保健所	98	1		1	23			1				1	*	*					
八代保健所	351	6		4	84	7		3	2										
水俣保健所	96	2	1	3	15			6	2				*	*					4
人吉保健所	218	8		2	19			1	1			2	*	*					
有明保健所	293	3	10	8	93			4	1			22		1					
宇城保健所	290			4	37			12	1			5	*	*					
天草保健所	195	5		4	27			8	4		1								
計	2812	47	22	84	570	14	0	71	26	1	2	65	0	32	0	2	5	0	8

年齢別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)

インフルエンザ定点	合計	0~5 カ月	6~11 カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80歳以上	
インフルエンザ	2812	12	38	120	157	180	205	194	184	174	152	112	437	71	99	197	148	130	110	42	50	
小児科定点年齢	合計	0~5 カ月	6~11 カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20歳以上							
RSウイルス感染症	47	8	12	15	10	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
咽頭結膜熱	22	0	1	2	4	7	1	4	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	84	0	0	1	6	8	6	11	8	7	8	9	17	0	3							
感染性胃腸炎	570	1	19	96	51	58	55	37	39	36	20	30	72	14	42							
水痘	14	0	2	2	0	0	3	4	1	1	1	0	0	0	0							
手足口病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0							
伝染性紅斑	71	0	2	2	2	13	10	9	13	7	3	6	4	0	0							
突発性発しん	26	0	12	13	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0							
百日咳	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0							
ヘルパンギーナ	2	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0							
流行性耳下腺炎	65	0	1	2	8	10	16	9	6	5	3	1	3	0	1							
眼科定点年齢区分	合計	0~5 カ月	6~11 カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70歳以上		
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	32	0	0	0	0	1	1	0	2	0	0	0	1	3	5	8	2	2	5	2		
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1~4	5~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70歳以上					
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
無菌性髄膜炎	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
マイコプラズマ肺炎	5	0	1	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
感染性胃腸炎(ロウウイルス)	8	1	3	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

引き続きインフルエンザに注意しましょう

2月22日~2月28日の県内のインフルエンザの報告数は、2,812件で警報レベルを超えています。前週2月15日~2月21日の2,700件に比べ、報告数は1.04倍と13週連続で増加していますが、週を追うことの増加のスピードが緩やかになってきましたので、流行のピークにあるものと思われます。

保健所別では、八代、宇城、菊池、人吉、山鹿、有明、水俣、熊本市が警報レベルとなっており、天草、阿蘇、御船は注意レベルです。今後も警戒が必要です。

インフルエンザの予防方法

- 時間をかけた丁寧な手洗い
流水や石けんでの手洗いは、手指についたウイルスを洗い流す効果があるといわれています。ただし、洗いやすすぎが不十分だとウイルスを完全に除去することができません。20秒以上時間をかけた丁寧な手洗いを心がけましょう。指先・手首・指の付け根は、特に丁寧に洗きましょう。さらに、手洗いの後に、アルコール消毒を行うとより効果的です。
- 咳エチケット
咳やくしゃみは他の人に向けないようにしましょう。また、咳やくしゃみができる時は、できるだけマスクをつけましょう。特に、手のひらで受け止めたときは、すぐに手を洗いましょう。マスクは、感染者がつけたほうが、感染予防効果は高いといわれています。

※熊本県のホームページ
「今冬のインフルエンザ総合対策に取り組みましょう」
http://www.pref.kumamoto.jp/kiji_13799.html

